

ひまわり No.19

消防広報 平成26年(2014)10月20日

編集・発行 出雲市消防本部 消防総務課

TEL: (0853)21-2119(代)

e-mail:soumu@izumo119.or.jp



一日救急隊長 **みことくん**
一日救急隊員 **まがたまちゃん**

救急の日イベントを開催しました!

毎年9月9日は「救急の日」です。

救急の日は、救急業務への正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に昭和57年に定められました。

おおくにぬしのみこと

神話「因幡の白うさぎ」では、**大国主命**が鱈鮫に皮をはぎ取られた白うさぎに手当てをしたことが記されており、これが、日本で最初の応急手当として伝えられています。

その大国主命にあやかり、大国主命が祭神である出雲市大社町の出雲大社勢溜で9月7日(日)に救急の日イベントを行いました。

当日は一日救急隊長に「みことくん」、一日救急隊員に「まがたまちゃん」を任命して、応急手当の手順がプリントされたクリアファイルの配布をはじめ、心肺蘇生法の実演及び指導などを行いました。今回のイベントは観光客の方や地元の方々へ救急業務に対する正しい理解と認識を深めていただける良い機会となりました。

出雲市消防本部では、次のとおり応急手当講習会を行っております。

各事業所、自治会、学校等あらゆる団体(10名以上)から受付をしています。

また、個人または10名以内の団体での受講をご希望の方は、毎月第3木曜日午後に出雲市消防本部にて普通救命講習を行っています。

詳しいことは、警防課救急救命センター(21-6923)へお問い合わせください。

応急手当講習会の内容

講習会の種類	受講期間	内 容
①救急講習会(救急法)	1~2時間	心肺蘇生法/AED使用方法
②普通救命講習Ⅰ・Ⅱ (修了証交付)	Ⅰ: 3時間 Ⅱ: 4時間	心肺蘇生法/AED使用方法 止血法及び異物除去法
③上級救命講習会 (修了証交付)	8時間 (1日講習)	②の救急講習の内容及びその他の応急手当
④応急手当普及員講習	24時間	応急手当の知識や技術を 職場や地域で普及するための指導要領の講習

教えて！救急隊長！！～Q&A～

Q 救急車を呼ぶときの119番通報は、どこにつながるのですか？

A. 119番通報は近くの消防署ではなく、消防本部の指令課につながります。通報を受けた指令課では直ちに発生場所に一番近い救急隊に指令を出し、指令を受けた救急隊は、直ちに現場に出動します。

Q 救急車を呼ぶときに119番したら、名前や住所、患者の状態を詳しく聞いてきました。どうして急いで救急車を出してくれないのですか？

A. 救急車は、場所が確認できた時点で出動しているので安心してください。通報者の方が用件を伝え、電話を切ってから出動しているわけではありません。状況を詳しく聞くのは救急隊へ必要な情報を伝えるためと救急隊が到着するまでに電話口で応急手当の方法をお教えるためです。

Q 救急車のサイレンを鳴らさずに来てもらえますか？

A. 救急車が出動するときは、一刻も早く現場に向かうために緊急車として走行するために、道路交通法の規定によりサイレンを吹鳴します。サイレンの吹鳴は緊急走行のための安全確保にも必要不可欠ですので、ご理解とご協力をお願いします。



救急車や救急医療は限りある資源です。

みんなで上手に利用し、救急医療を安心して利用できる社会をめざしましょう。



秋の火災予防運動



「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

H26年度
全国統一防火標語

11月9日から11月15日まで、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、防火の意識を高めて頂き、火災から**尊い命と貴重な財産**を守ることを目的として「秋の火災予防運動」が実施されます。

ちょっとした不注意が火災へとつながりますので、火の取扱いには十分注意しましょう。

命と財産を守る初めのステップは、**住宅用火災警報器の設置**です。

すでに設置された方は、次のステップです。それは、**住宅用火災警報器の維持管理**です。

天井に設置している状態でも電池は消費しています。いざという時に電池切れになっては作動せず、火災の発見が遅れ大変危険です。定期的に点検ボタンを押すなどして作動確認を行いましょう。機種によっては電池切れや故障を音や光で知らせるものがあります。異常を発見したときは、防災業者かお求めになったお店へお問い合わせください。

次に**住宅用火災警報器が鳴った時の対応方法の確認**です。住宅用火災警報器が鳴ったらすぐに、**火災の確認**をしてください。火災ではないときは、次のことが主な原因と対処方法です。

- ①火災でない湯気や煙などを感知した場合
- ②センサー部分にホコリや虫が付着した場合
- ③煙式殺虫剤などを使用した場合
- ④電池が切れた場合

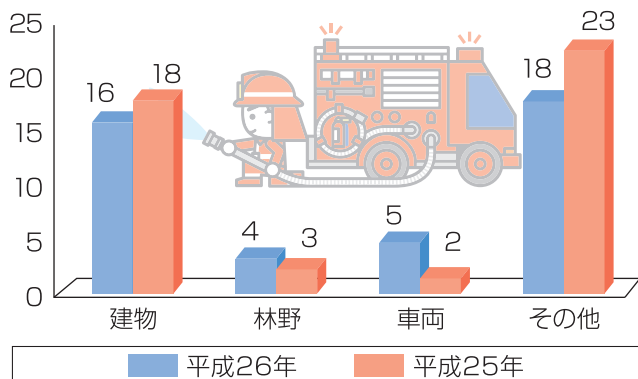
センサー部分の汚れが原因の場合は、家庭用中性洗剤を浸して十分に絞った布でふきましょう。ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。



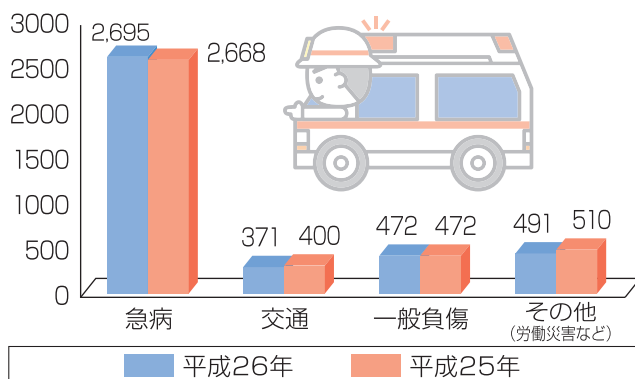
平成26年(1~8月) 火災・救急統計

火災は約5.5日に1件、救急は1日に約17件の割合で発生しています。

火災件数43件 (前年同期比3件減)



救急件数4,029件 (前年同期比21件減)



平成26年1月～8月中の火災件数は43件で、前年の46件に比べ3件の減少でした。

種別毎にみると、枯草などが燃えた「その他の火災」、建物火災が前年に比べ減少したものの、林野火災と車両火災が増えています。

火災による死傷者は、死者の発生は無かったものの、負傷者は10名で前年に比べ3名増加しています。

出火原因は、たき火が最も多かったです。

平成26年1月～8月中の救急件数は4,029件で、前年同期の4,050件に比べ21件の減少となりました。

種別毎にみると、「急病」が2,695件で全体の約67%を占め、次いでけがや骨折などの「一般負傷」が472件、「交通事故」が371件となっています。

傷病程度別にみますと、軽傷が全体の約47%を占めています。

平成26年8月豪雨における緊急消防援助隊の活動について



長岡秀人出雲市長へ帰庁報告

緊急消防援助隊は、国内における地震等の大規模災害の発生時、被災地の消防力のみでは対応困難な災害に対して、応援要請により出動し、都道府県の枠を超えて災害活動を行うことを任務として、全国の消防機関が登録した部隊で編成されています。

出雲市消防本部においても、平成26年8月20日に広島市で発生した豪雨災害において緊急消防援助隊として出動し、救助部隊(救助工作車1台、資機材搬送車1台)が2回の交代を行ない、総勢10名の隊員が6日間にわたる救助活動を実施しました。

新車両の紹介!

このほど、斐川消防署の水槽付消防ポンプ自動車を更新しました。この車両は、大容量の水槽(1,500ℓ)を装備し、いち早く火災現場で消火活動を行う車両で、水利の確保が難しい場所でも活躍する使用頻度の高い車両です。

また、泡自動混合装置(フォームプロ)も装備され、水だけでは消火が難しかったプラスチック・ゴム火災や油火災にも対応可能となり、各種災害に対応しています。



中学生の

宿泊体験学習を実施

平成26年7月30・31日、出雲西消防署本署にて、湖陵中学校の生徒さんを対象に「消防を知り、消防に対する知識を学び火災予防の普及啓発を図るとともに、学校生活とは違う団体生活での規律、責任感、郷土愛を養うこと」を目的とし、宿泊体験学習を実施しました。今回は1年生から3年生の男子生徒6名、女子生徒3名が参加し普通救命講習、規律訓練、結索訓練、ホース延長訓練等を実施した後、火災を想定した総合訓練を行いました。2日間の研修では、学年性別を問わず共に助け合いながら消防活動を体験されました。



西園保育園幼年消防クラブへ

和太鼓セットを配備

出雲市消防本部少年女性防火委員会（会長 森山靖夫消防長）は、（一財）自治総合センターの宝くじ助成事業により、和太鼓セットを購入し、西園保育園幼年消防クラブに配備しました。同クラブは、昭和59年に結成され、定期的に防火訓練を行い、幼年期からの防火意識の高揚を図っています。



水難救済会出雲救難所

海難事故想定訓練について(報告)

水難救済会出雲救難所では、海難救助の技術やチームワークの向上のため、今年も各会場において海難事故想定訓練が行われました。7月には十六島漁港を会場に、平田支所の合同訓練が、8月には大社漁港を会場として、大社・日御碕及び鷺鷥の3支所合同訓練が、9月には小田西漁港を会場に多伎支所との合同訓練がそれぞれ行われました。



この訓練では、火災船への放水訓練、浸水船乗組員の救出訓練、救命索発射銃を使用しでの孤立者救出訓練等が行われました。

水難救済会出雲救難所は、船舶による海難



その他沿岸事故から尊い命を救うため結成され、要請を受けた場合には、昼夜を問わず活動にあたられます。今後も海の安全を守るため、このような訓練を継続的に行われる予定です。

代表 (電話 21-2119) (FAX21-8241)

お尋ねは

- 消防総務課 (電話 21-6920)
- 予 防 課 (電話 21-6921)
- 警 防 課 (電話 21-6923)
- 指 令 課 (電話 21-6924)
- 出雲消防署 (電話 21-6926)
- 佐 田 分 署 (電話 84-0915)
- 出雲西消防署 (電話 43-8119)
- 多 伎 分 署 (電話 86-2149)
- 平田消防署 (電話 63-5519)
- 大社消防署 (電話 53-2373)
- 斐川消防署 (電話 72-0800)

災害案内 (電話 23-0119) ホームページアドレス <http://www.izumo119.or.jp>